

# 令和元年度福岡市地球温暖化対策実行計画協議会 議事録（要旨）

■日時：令和元年 8 月 29 日（木）14 時 30 分～16 時 00 分

■場所：天神NKビル A+B会議室

## 1. 開会

- ・委員紹介
- ・開会の挨拶（福岡市環境政策部総務課長政住課長）

## 2. 議事

### （1）福岡市地球温暖化対策実行計画にかかる進捗状況について

#### ・区域施策編（排出状況）

＜事務局より、資料1に基づき、温室効果ガスの排出状況等を説明＞

#### ○委員からの主な意見

- ・温室効果ガス排出量の総量は下がっているが、要因の一つとして電力の排出係数が下がったことが考えられる。将来予測は難しいと思われるため、目標達成に向けて取り組む必要がある。

#### ・区域施策編（施策取組状況）

＜事務局より、資料1に基づき、施策の取組状況および目標達成状況等を説明＞

#### ○委員からの主な意見

- ・運輸（自動車）部門の二酸化炭素排出量が近年横ばいになっており、対策の見直しが必要と思われる中で、新車販売台数に占めるEV・PHV・FCVの割合の現状値は少ないと思われる。また、目標値を達成したとしても、水素が化石資源から作られる水素であれば意味はなく、EVについても、再生可能エネルギーから作られた電力でなければ意味がないので、注意が必要である。
- ・今まで本協議会で協議された、さまざまな意見、対策が実行に移されている。全国と福岡市では家庭部門の占める割合が16%と28%と異なる中で、全国は二酸化炭素排出量が2016年度と比べて100万t増加しているが、福岡市が減少していることは、全国に比べれば評価しているのではないかと思われる。ただし削減目標を考えると、もう少し効果的な対策を考えなければならないと考えられる。

#### ・事務事業編（進捗状況について）

＜事務局より、資料1に基づき、エネルギー消費状況や目標達成状況等を説明＞

○委員からの主な意見

・(一財)省エネルギーセンターが行っている省エネ診断について、自治体の施設に省エネの専門家を派遣し、具体的な対策を提案することが可能であり、省エネの浸透へのきっかけになると考えられるため、活用も可能だろう。

**(2) 気候変動への適応策について**

<事務局より、資料2-1に基づき、気候変動適応策の概要に関して情報提供>

**(3) ごみ減量の取組みについて**

<事務局より、資料2-2に基づき、ごみ減量の取組みに関して情報提供>

**3. 閉会**